

☆岡山県「わかば賞」を受賞しました。(9/12)

登校後、校門周辺で自主的に取り組んでいる清掃活動が青少年の善行をたたえる「わかば賞」として認められ、体育館で伝達式が行われました。この清掃活動は、昨冬から一人の児童が始めたもので、令和6年度4月からも少しずつボランティアの人数が増えてきました。そして、現在も何名かの児童が登校後進んでボランティア活動に励んでいます。このように、自分から進んでよい行いができるのは本当に素晴らしいことです。そして、少しずつ自分もやってみようという子どもたちが増えてきたことはうれしいかぎりです。「できる！のびる！つながる！玉南っ子！」に向かってすくすくと成長しています。



このような賞牌もいただきました。玄関に飾る予定です。



☆玉島地区児童生徒科学発表会(玉島高等学校 9/19)

玉島南小学校代表として堂々と発表しました。2人とも科学研究に挑戦してみて、もっと調べてみたいことが見つかったようです。ぜひ、みなさんも挑戦してみてください。

〇3年生 小野 瑛 さん「家の中にある物でさんせいとアルカリせいを調べる」



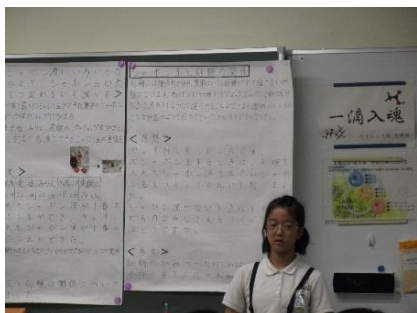
【調べようと思ったきっかけ】

pHしけん紙の実けんキットを見つけた時に、家の中にある物が何色になるかを調べてみたくなったから

【わかったこと・感想など】

- ・家にある物19こを調べると、5番の色が一番多かった。(1から14まであって、1に近づくほど酸性、14に近づくほどアルカリ性)
- ・5番になった11この物はすべて体に付いたり食べたりしてもわるくない物だった。

〇6年生 小野 葵 さん「どれが一番大きい！？～大きいシャボン玉づくり～」



【調べようと思ったきっかけ】

シャボン玉で遊んでいるときに、小さいものばかり出来て大きいものがなかなかできなかったの不思議に思った。自分でつくったシャボン液の方が大きいものが作れそうだったので挑戦してみた。

【わかったこと・感想など】

- ・やってみて楽しかった。次にシャボン玉で遊ぶときは、砂糖を入れたシャボン液で大きいシャボン玉を作りたいと思った。次に実験するときは、シャボン液に入れる砂糖を増やしたり減らしたりして、どのくらい大きいシャボン玉ができるかを調べてみたい。